

第二回 東海インターンシップ推進フォーラム

～インターンも「ブラック」時代!!「良いインターンシッププログラム」の基準を考える～

若者の就業観醸成・企業の採用・地域活性化の取り組みなど、
様々な方面で影響力が拡大しているインターンシップ。

「良いインターンじゃないと学生が来ないのはわかってるけど、何が『良い』の？」
「参加してみたら、全然学びも気づきもなかった。どうやったら良いインターンを探せるんだろう」
「良いSを提案したいけど、何をやったら『良いプログラム』になるのか判断がつかない…」

こんな声が全国から聞こえてきます。
しかし、「誰かにとって」だけ良い基準では、win-winにはなりません。
「学生にとって」「企業にとって」「大学にとって」「地域にとって」
良いインターンシップの基準とは何なのか？

第二回は、「インターンプログラムの基準」を皆で考え、発信していきます。ぜひご参加ください。

開催概要

開催日時 / 2月18日(月) 13:30～16:30 (全プログラム終了予定)

場所 / 愛知学院大学名城公園キャンパス アガルスホール
地下鉄名城線名城公園駅2番出口徒歩1分※大学内の駐車場はございません。

参加対象者
(定員150名)

インターンシップに関わり、その「品質」に対し興味関心のあるすべての方

- ・インターンシップを推進する大学関係者の方
- ・インターンシップを推進する行政関係者(地方自治体、国)の皆様
- ・インターンシップを受け入れる企業の方
- ・インターンシップをコーディネートする方(就職サイト運営会社・NPOなど) 他
- ・インターンシップに興味のある学生の方

プログラム概要

13:30～14:00

▶ **第一部** パネルトーク:内閣官房×文部科学省×東海S推進フォーラム

「インターンシップの基準が、なぜ重要なのか?を多角的に考える」

【ゲストスピーカー】

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 根橋 様

文部科学省高等教育局専門教育課 村上 様

14:10～16:30

(途中休憩含む)

▶ **第二部** ディスカッション:インターンの「品質基準」を考える

セッション①実事例ディスカッション

インターンシップの「良い」「悪い」は、何で判断されるのか?実事例を交えながら、
参加者である学生の立場に立って「良いインターンシップ」について皆で考えます

セッション②「インターンシッププログラム」品質基準検討

①を受けて、学生が「参加してよかった」と思えるプログラムの基準はどこに置くべきか?
実際の指標を言語化し、基準をつくっていきます

お申込みはこちらから https://krs.bz/recruit/m/tokai_intern

